

# 興南 チーム力で15連覇

## ハンド球県高校選手権

ハンドボールの第58回県高校選手権最終日は17日、八重瀬町具志頭社会体育館で男女決勝を行い、男子は興南が那覇西を31-25で下し、新型コロナウイルス感染拡大による2年間の中止を挟んで15年連

続37度目の優勝を果たした。女子は浦添が那覇国際を35-16で破って6年ぶり12度目の頂点をつかんだ。

### ▽男子決勝

興 南 31(14-12)25 那覇 西

### ▽女子決勝

浦 添 35(22-6)16 那覇国際

## ハイライト

興南は苦しみながらも決勝を31-25で制した。

エースで182cmの大城翔太郎が準決勝で脚を負傷するなど、決勝では180cm以上の主軸3人を欠いたが「今いるメンバーで勝とう」と臨んだ。

高さが失われた分、「スピードを生かした」(比嘉泉稀主将)。その言葉通り、前半、サイドから田島魁也が速攻を決めるなどし、14-12とリードして折り返した。

しかし後半、ミスから相手の猛追を受けついでかかる。

そこで比嘉泉稀は「自分が決めてチームを引っ張る」とギアを上げた。左から切り込んだり、中央からジャンプシュートを決めたりしてリード。さらに田島のポストプレーや比嘉泉稀、比嘉駿、安里康生の速攻などで失点を防ぎつつ6連続得点して一気に引き離し、試合を決めた。

ベンチ入り全員がプレーしての優勝に「チームの力で勝った」と比嘉泉稀主将は胸を張る。「(主軸の)3人も戻ってくる。来年の全国選抜ではベスト4、総体では全国制覇を狙う」と目標を掲げた。

(内間健)

## 主軸欠場 速さで補う 男子



## 浦添 6年ぶりV



女子決勝  
浦添ー那覇国  
前半、浦添の又吉叶が6点目のシュートを決める

## バスカツトから速攻一氣 女子

浦添は決勝で35-16と那覇国際を寄せ付けず頂点に立った。

出だしこそ点を取り合ったが、相手のバスをカットして速攻につなげるパターンが決まり始める。浦添が一気に主導権を握った。野底桃伽のポストプレーや又吉叶のサイド攻撃など多彩に攻め、前半で22-6と大きくリードした。

後半も気を緩めることなく、新垣陽咲のロングシュートや又吉虹歌が切り込んで決めるなど、次々と加点。守りでは積極的な動きで失点を防いで、大量リードに結び付けた。

新垣は「相手のエースを抑えて、得点を取れた」と手応え。野底は「日本一を目指すチーム。次の新人大会は、よりディフェンスを固めたい」と成長を誓う。主将の又吉叶は「守って速攻、の自分たちのハンドボールができた。王者となったが、ここにとどまらず進化を続けたい」と決意を示した。



男子優勝の興南



女子優勝の浦添